

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】令和 2 年 8 月 27 日 (2020.8.27)

【公開番号】特開 2020-74125 (P2020-74125A)  
 【公開日】令和 2 年 5 月 14 日 (2020.5.14)  
 【年通号数】公開・登録公報 2020-019  
 【出願番号】特願 2019-238413 (P2019-238413)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 30/10 (2020.01)

B 2 1 D 28/02 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/50 6 3 2

G 0 6 F 17/50 6 0 8 Z

B 2 1 D 28/02 Z

【手続補正書】  
 【提出日】令和 2 年 7 月 13 日 (2020.7.13)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

情報処理装置を、

第 1 の部品の穴の位置と、前記第 1 の部品の奥側に位置する第 2 の部品の位置に基づいて特定される、前記奥側に前記第 2 の部品がある穴を特定する特定手段として機能させるためのプログラム。

【請求項 2】

前記特定手段を、奥側に前記第 2 の部品がある穴の中心位置を特定する手段として機能させるための請求項 1 に記載のプログラム。

【請求項 3】

前記情報処理装置を、

前記特定手段により特定された穴を識別表示する識別表示手段として機能させるための請求項 1 又は 2 に記載のプログラム。

【請求項 4】

前記情報処理装置を、

前記特定手段により特定された穴の位置を、前記第 2 の部品を打ち出す位置として決定する決定手段として機能させるための請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載のプログラム。

。

【請求項 5】

前記情報処理装置を、

奥側に前記第 2 の部品がある穴を介して当該第 2 の部品を打ち出す第 3 の部品の平面座標上の位置決定する座標決定手段として機能させるための請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載のプログラム。

【請求項 6】

前記情報処理装置を、

前記特定手段により特定された穴を介して前記第 2 の部品を打ち出す第 3 の部品の形状を、前記穴を介して前記第 2 の部品を打ち出し可能な形状に決定する形状決定手段として

機能させるための請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載のプログラム。

【請求項 7】

前記情報処理装置を、

前記穴を介して前記第 2 の部品を打ち出す第 3 の部品のサイズを、前記穴を介して前記第 2 の部品を打ち出し可能なサイズに決定するサイズ決定手段として機能させるための請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載のプログラム。

【請求項 8】

第 1 の部品の穴の位置と、前記第 1 の部品の奥側に位置する第 2 の部品の位置に基づいて特定される、前記奥側に前記第 2 の部品がある穴を特定する特定手段  
を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項 9】

情報処理装置の特定が、第 1 の部品の穴の位置と、前記第 1 の部品の奥側に位置する第 2 の部品の位置に基づいて特定される、前記奥側に前記第 2 の部品がある穴を特定する特定工程  
を含む制御方法。